

社協だより

No.68

2020(令和2)年
12月15日発行



安芸高田市社会福祉協議会

ともに支えあい心豊かに



マスコットキャラクター
あいちゃん

自分たちのまちを 自分たちでより住みやすく



地域福社会議の様子（3ページに関連記事）

CONTENTS ～もくじ～

年頭のご挨拶	2
地域福社会議の取り組み	3
小地域のお茶の間サロンの紹介	4
介護職員初任者研修が始まりました	4

みんなで学ぼう「出前講座」	5
ボランティア交流活動でまちを美しく	6
ファミサポ研修を行ないました	6
まごころ	7
お知らせ 冬の感染症について	8

本誌は、皆さまの社協会費・寄附金で発行されています

年頭のご挨拶



安芸高田市社会福祉協議会

会長 竹重 博樹



新年あけましておめでとうございます。
皆さまにはお健やかで輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申しあげます。

平素より、社会福祉協議会に對しましてご理解を賜り、あたたかいご支援をいただいておりますことに心より厚くお礼申しあげます。

さて、新型コロナウイルス感染症に伴い、自粛にはじまりさまざまな事業が行なわれない状況が続いておりますが、声かけや訪問など地域の皆さまと寄り添いながら、今できることを続けております。

すでに、第3波として感染者の上昇傾向がみられますが、手洗いや三密対策をとりながら、介護保険事業所等の運営を通して、何よりも利用者様の健康に留意し、笑顔を絶やさない取り組みを行なっております。

また、社会福祉協議会の主要施策であります地域福祉活動は、国・県が推進する「地域共生社会」の実現を目指した取り組みが始まります。小地域お茶の間サロンなどの開催により、地域で支え合うためには、住民ニーズや課題に

応じた世代を超えてつながりを深める必要があります、これまで以上に、地域の皆さまや福祉関係者が連携して生活課題の解決に向けた活動を展開していくことが求められます。

現在、3地域に「地域福祉会議」を創設してありますが、4月からは、全地域に設置し、「ともに生きる豊かな地域社会」を目指し、住民一人ひとりが楽しみや生きがいを見出し、生活上のさまざまな困難を抱えた場合でも、社会から孤立せず、安心して、その人らしく生活を送ることができるよう社会を創り上げてまいります。

本年も役員一丸となり、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりを目指し、社会福祉協議会としての使命を果たしてまいります。

皆さまのより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
終わりに、会員の皆さまのご健勝とご多幸を心より祈念し、新年の挨拶といたします。

安芸高田市社会福祉協議会 役員等紹介

役員

【役職】

【氏名】

【選任区分・地区】

会長	竹重 博樹	学識経験者
副会長	福田美恵子	八千代地区
理事	佐々木昌莊	地域福祉関係者
理事	富田 慶子	地域福祉関係者
理事	水重 克幸	吉田地区
理事	津賀山とし子	吉田地区
理事	藤井 敏法	美土里地区
理事	中森 誠	高宮地区
理事	丸山 義捷	甲田地区
理事	浜重 好則	向原地区
監事	近藤 一郎	学識経験者
監事	寺田 博彦	学識経験者
顧問税理士	中川 筆之	学識経験者

評議員

【吉田地区】

【美土里地区】

【甲田地区】

灰谷 祐子	上光 晴登	上川笑美子
森川 悦子	佐々木忠則	豊原 稔和
杉岡 民男		国広 憲昭
猪上 優彦		
中束 允茂	永井 君枝	
	武内 眞理	
		内藤眞知子
		宍戸 文子
【八千代地区】		
藤田 志守		
甲田 幸枝		

地域福祉会議の取り組み

～みんなで支え合うまちづくりを目指して～

社会福祉協議会では各町で地域福祉会議を行ない、どの地域からも「サロン」を拠点に『地域のつながりを強めたい』という意見が多く出ました。やはりサロンは地域の宝であり、今後はサロン活動から、生活援助や見守り、権利擁護などの事業と連携できる地域を目指していきます。

今年度の3地域の会議の経験を活かし、来年には、さらに高宮・甲田・向原への取り組みに向けて準備を始めます。それぞれの地域にあった解決策で、安芸高田市でいつまでも元気に住み続けられる、お互いに支え合い気にかける仕組みづくりに取り組んでいきます。

吉田では『集いの場を増やせないか』ということで、集える場（集会所）を把握するためのマップ作りを始めました。それを基に、つながりのある地域づくりに向けて、サロン立上げの支援に動いています。

会議の様子（吉田）



会議の様子（美土里）



美土里では『孤立した高齢者をなくしたい』『行きたくなるサロンはどんなものか』という思いから、サロンの参加者を増やす取り組みとしてアンケートを行ない、気にかける地域づくりに向けて進んでいます。

八千代では地域の課題解決に向けて、「生活のしづらさについてのアンケート」をサロンやげんき教室の会場へ出向いて行なっています。これらかもみんなで元気に、安心して暮らせる地域づくりに向け、取り組んでいます。

会議の様子（八千代）



【お問合せ先】 地域福祉課

電話・お太助フォン：47-1131

小地域のお茶の間サロンの紹介

～えがおサロンやちよ～

えがおサロンやちよは、八千代町佐々井地区で平成29年12月18日に立上げ、現在4年目となります。

スタッフ数は、約30名、6班に分かれて交代制でサロンを実施。担当の班、スタッフが得意の分野で工夫されたメニューでの開催で、手芸や物づくり、絵本の読み聞かせ、音楽合唱、剣詩舞とバラエティー豊かな活動を参加者は毎回楽しみにされています。また、近くの幼稚園の園児と多世代交流もされており、活力や生きがいが生まれる内容もされています。

今年は、コロナ禍の心配があるうえでの開催で、特別な苦労があるものの、参加者の「えがお」のため、楽しく開催しております。佐々井地区にお住まいの方で参加されていない方は、参加してみませんか？



活動の様子

【お問合せ先】地域福祉課 電話・お太助フォン：47-1131

介護職員初任者研修が始まりました

(旧ホームヘルパー2級課程)

今年度開催の初任者研修が、10月8日より開講となり、10代から60代の14名の方が受講されています。

今年は、新型コロナウイルス感染症の予防対策を行なう難しい状況の中での開催ですが、皆さんも介護への知識を深めようと、毎週熱心に学ばれています。

1月21日の修了日には、全員そろって修了ができるよう社協もサポートしていきます。



研修の様子



研修の様子

【お問合せ先】地域福祉課
電話・お太助フォン：47-1131

手作りパンとチーズケーキの店

サンパソル

■営業時間 AM 9:00 ~ PM 6:30

■定休日 毎週月曜日・第1日曜日

安芸高田市吉田町常友 1270-3

TEL47-4012 (FAX 兼用)



快適な生活環境を創る

土木・上下水道・造園・舗装

有限会社 **オガサワラ**

安芸高田市美土里町北2520-5

TEL : 0826-55-0537

みんなで学ぼう「出前講座」

「出前講座」ではサロンや学校などの団体を対象に講師を派遣し、福祉・介護についての講座を開いており、今年はこれまでに24回開いています。

その中から、開催した内容を一部ご紹介します。

開催事例①：吉田小学校

出前講座の内容：「福祉体験」講話や車いす移動の介助を通して、高齢者や障がい者への理解を深めました

参加者：4年生56名

児童の感想

車椅子体験で介助してもらった人の気持ちがわかりました。これからは、困った人への声かけや手助けをしていきます。



開催事例②：土井サロン（八千代町）

出前講座の内容：「災害」災害への備えを学ぶ地域のハザードマップを作成し、危険な場所を自分たちで知り、今後の災害への備えを自分たちで考えました。

参加者の感想

自分の地域を確認することで、どこに避難するか確かめることができました。

現実的な避難場所になるように、後日交渉することに繋がりました。



他にもこんな講座があります、ご利用をお待ちしています。

- ・認知症 ・こころの健康 ・薬と健康の管理 ・健康づくり ・レクリエーション ・転倒予防
- ・ボランティア活動 ・高齢者の生き方 ・権利擁護 ・介護の豆知識 ・福祉、介護制度
- ・終活を考える ・ふれあいサロン

詳しい内容はこちらにお問い合わせください
地域福祉課 電話・お太助フォン：47-1131

家電販売・電気工事・水道工事

アイライフ
高橋電機 向原
安芸高田市向原町坂143-1
TEL46-2118 FAX46-4019

電気と水で快適な暮らし

家庭電化製品・電気工事・給排水・住宅設備設計施工
水廻り(風呂・トイレ・洗面・キッチン)リフォーム

エディオン向原店
株式会社 佐々木電機
〒739-1201 広島県安芸高田市向原町坂720-1
TEL0826-46-2076 定休日：お正月(1月1日)・4日
営業時間：9:00～19:00
安芸高田市・広島市上下水道指定工事店

KODAMA KOBUNDŌ
見玉向文堂

●OA機器 ●事務器 ●スチール家具
●事務用品 ●文房具 ●教材 ●教具
安芸高田市向原町坂151-7
TEL (0826)46-2140
FAX (0826)46-3540

ボランティア交流活動でまちを美しく

ボランティア連絡協議会主催の、第14回ボランティア交流活動を、11月22日（日）にNPO法人「ひろしま人と樹の会」のご協力のもと、合計68名に参加していただき、毛利元就墓所周辺の枯れ木伐採などの清掃活動を行ないました。

天気も良く、ボランティアの皆さんのおかげで、まちの名所が美しくなりました。



東屋周辺を掃除



枯れ木を伐採



子どもも頑張ります



ちからを合わせて



ご参加ありがとうございました

【お問合せ先】
地域福祉課
電話・お太助フォン：
47-1131

ファミサポ研修を行ないました

今年度は11月28日(土)に、安芸高田市消防署において、子育て支援事業のファミリー・サポート・センター（ファミサポ）、一時預かり会員を対象にファミサポ合同研修会を開催し、13名の参加がありました。

基礎救急法の講座とAEDの使い方等を学び、経験を交えた対処方法を聞くことで、より分かりやすく、有意義な学びとなりました。



研修の様子



研修の様子



消防署の方の講義



【お問合せ先】 地域福祉課 電話・お太助フォン：47-1131

まごころ

○本会への寄附金については所得税法による寄附金控除が受けられます。
○寄附者ご本人の承諾のもと氏名等を記載しています。（敬称略）

次の皆さまから、あたたかいご寄附をいただきありがとうございました。
お寄せいただきましたご寄附は、社会福祉活動へ大切に活用させていただきます。

(令和2年9月1日～令和2年11月30日受付分)

●一般寄附

○吉田町

なかがわ石材店

○匿名 1名

●香典返し

(故人／行政区／寄附者)

○吉田町

折田コヨシ 沖原 広瀬志津江

西川 春幸 太郎丸上 西川 光

吉村 朝子 高野 吉村 千秋

日野美津子 市場上 日野 好弘

西山 公平 常楽寺 西山喜代子

寺井 恵 太郎丸上 寺井美代子

戸田 綾太 本谷下 戸田 俊文

増田ヨリ子 山手中 増田 定義

杉田 住子 高野 杉田 勝

武岡 栄 内堀 武岡 義一

中村 義知 中原 中村 義治

作田ヤエコ 下小山 作田 幸雄

中元 節子 青迫4 中元 久司

大西 涉 4丁目上 大西 康弘

橋本スミ子 山手西 橋本 祐樹

○八千代町

宮崎 信子 谷の城 上野百合子

沖野 孝之 日南下 沖野 勤

田中八千代 下土師上 田中 義之

中村 修壮 寺の下 中村 尚美

三原 實子 土井 三原 孝一

光原 太郎 宮の上 光原フミエ

天根 一磨 中佐々井 天根 信子

高下 芳枝 下房後 高下 愛彦

○甲田町

井上ツキミ 胡子常会 井上 啓三

新田 忍 尾首 新田 法明

中野 光明 上山田 中野 晴子

山上百合子 久保田 山上あつ子

新田恵美子 尾首 新田 法明

今井 八郎 中組 小田 孝博

山田多恵子 末広 山田 弘志

辰己久登思 陰近 辰己 貞雄

○向原町

井上 康江 長田2区 井上美早子

望月アキ子 有留3区 脇坂 清

奥野コユミ 戸島7区下 奥野 寿直

陽岡 立夫 保垣5区 陽岡 静子

望月 文子 有留3区 望月 和喜

山崎 二郎 戸島9区 山崎 雪子

川増 皎子 坂15区下 川増 義治

重村 憲三 長田4区 重村 好子

○安芸高田市外

○匿名 3名

木下 高子 茂谷 木下 圭子

新宅 節江 深渡 新宅 徳雄

丸尾 清吾 五十貫部 丸尾 慎一

石崎ミヤコ 下式敷 石崎 堅治

佐々田茂子 野部 佐々田久子

中原 秀美 上竹貞 中原 秀司

土村チエコ 宮迫 土村 純三

森河 清 山根 森河 一江

茅野 芳子 向原 茅野 元行

遠野ヲトラ 後岡城 遠野 武司

○高宮町

菊本 哲郎 下叶口 菊本 浩治

佐々木 秤 有藤 佐々木 登

政池 逸登 上河内 政池 文廣

桜尾みどり 下叶口 桜尾 宏章

今野 勝枝 山崎 今野 敏實

谷本 達雄 上叶口 谷本 恵

上柳 博昭 横呂 上柳 敦則

堰楽 至郎 戌谷 堰楽 博文

小笠原 榮 九文久 小笠原勝宏

折田コヨシ 栃木 折田 文江

○美土里町

折田コヨシ 栃木 折田 文江

小笠原 榮 九文久 小笠原勝宏

堰楽 至郎 戌谷 堰楽 博文

上柳 博昭 横呂 上柳 敦則

谷本 達雄 上叶口 谷本 恵

今野 勝枝 山崎 今野 敏實

桜尾みどり 下叶口 桜尾 宏章

政池 逸登 上河内 政池 文廣

佐々木 秤 有藤 佐々木 登

菊本 哲郎 下叶口 菊本 浩治

○高宮町

遠野ヲトラ 後岡城 遠野 武司

茅野 芳子 向原 茅野 元行

森河 清 山根 森河 一江

土村チエコ 宮迫 土村 純三

中原 秀美 上竹貞 中原 秀司

佐々田茂子 野部 佐々田久子

石崎ミヤコ 下式敷 石崎 堅治

丸尾 清吾 五十貫部 丸尾 慎一

新宅 節江 深渡 新宅 徳雄

木下 高子 茂谷 木下 圭子

冬の感染症について

冬に流行するインフルエンザ。高齢者がかかると重症化しやすいだけでなく、肺炎球菌などの二次感染により肺炎を起こすおそれもあります。

また今年は、新型コロナウイルスとの同時感染に気を付ける必要があります。

高齢者の肺炎の特徴

- 1、高熱、せき、たん、呼吸困難などの症状に気づきにくいです。
- 2、糖尿病や高血圧、COPD(慢性閉塞性肺疾患)などの持病が重症化しやすくなります。
- 3、加齢により飲み込む機能が低下し、異物が気道に入る「誤嚥」が起こりやすくなります。そのことがきっかけとなって誤嚥性肺炎を引き起こします。



感染ルートに気を付けよう

飛沫感染：感染者の咳やくしゃみなどの飛沫に含まれるウイルスを吸い込むことで感染します。

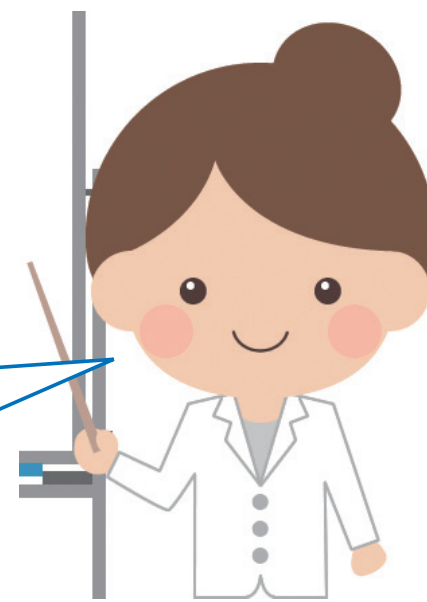
接触感染：くしゃみや咳を手でおさえた感染者が、その手でさまざまな場所を触ることによってウイルスが付着します。その場所を触れた手で目、鼻、口を触れることで感染します。

新型コロナウイルスに気を付けよう

新型コロナウイルスは、症状が出た時にはもう周囲へ感染させている可能性があります。

症状がない人も含めてみんなが、マスクをすることが感染予防になります。手洗いや手の消毒も大事です。

有効なワクチン、治療薬が整うまでは3密をさけることが有効です。



安芸高田市地域包括支援センター 電話・お太助フォン：47-1132

編集後記

今年は、コロナに始まりコロナに終わる1年になりました。これまでも新しい感染症がいくつか流行しましたが、ここまで影響が大きい感染症は初めての経験で、だからこそできる対策を一人一人がしっかり行なうことが大事だと思います。

＜広報委員会＞委員長 浜重 好則 副委員長 中森 誠

委員 津賀山とし子 富田 慶子 藤井 敏法 丸山 義捷



社協だより

発行・編集
〒731-0521

社会福祉法人 安芸高田市社会福祉協議会

広島県安芸高田市吉田町常友1564-2(安芸高田市保健センター内)

電話・お太助フォン(0826)42-2941 FAX(0826)47-1312 ホームページ <http://www.akisha.jp/>